

秋ノ九裏

しにあるじのさてもさはかりいとをし

がり給ひし姫〈ひめ〉△ぜんの御事のあはれ (△＝「御」に濁点)

さよ御出家〈しゆつけ〉の後〈のち〉その日のうちに御前〈ござん〉は

さまかへて一二年は京におはせしに

九條〈でう〉の民部卿〈みんぶきやう〉のむすめ冷泉殿〈れいぜんだの〉と申

人の子〈こ〉にして世にいとをしくし給し

かは母〈はは〉は高野〈かうや〉のあまのにおこなひてこ

の十七ねんは人をだにもかよはし給はず

此程〈ほど〉は冷泉殿〈れいぜんだの〉のむかひ腹〈ばら〉の娘〈むすめ〉はりまの